

編集後記

❑本号では「生き生きと学ぶ授業をつくる」を特集に取り上げ、6校の実践を紹介した。「学ぶ楽しさと意欲をもたせる工夫」「子どもの視点に立った教材研究」「少人数指導など個に応じた指導方法の工夫改善」などの例があげられた。貴重な実践を参考に各学校の実態に即した創意工夫を加え、子どもたちが生き生きと学ぶ授業づくりを実現して欲しい。

❑巻頭論文では、有田和正氏から授業づくりの在り方や授業力向上等について、「授業力アップ術」と題した提言をいただいた。子どもを引き付ける魅力的な授業は、子どもの目線に立つことから始まる。教育の可能性を追い求める熱意と広い視野に「教師」としての真摯な姿を感じた。

❑「教育さいたま」は、昨年度から全文をインターネットに公開している。既刊の13号、14号も次のURLから御覧いただくことができる。寄稿の皆様の御協力に心から感謝する。

<http://www.saitama-city.ed.jp>

<http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp>

(担当 小林真理子 益子 聡)

表紙絵「おおきなくじらさん」

(西区 指扇小学校1年 遠藤 海央)

教育さいたま15号

監 修 鬼塚真知子 (指扇北小学校長)

編 集 さいたま市立教育研究所
所 長 松下 道夫

発 行 さいたま市教育委員会

発行日 平成18年9月21日
